

## 平成23年度第2回小牧市外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 開催日時** 平成23年10月24日（月）  
午前9時30分～正午
- 開催場所** 小牧市役所本庁舎4階 第4会議室

## 2 出席者

外部評価委員会委員（敬称略）

市民公募委員	石井 玲子
市民公募委員	沖本 進
(特)こまき市民活動ネットワーク 副代表理事	末松 雅彦
椙山女学園大学 文化情報学部 教授	武長 脩行 ◎
市民公募委員	東本 香織
名古屋経済大学 法学部 准教授	萩原 聡央
市民公募委員	原 正行
デリカ食品工業株式会社 代表取締役社長	廣野 友巳
あおい交通株式会社 代表取締役社長	松浦 秀則
(特)こまき市民活動ネットワーク 代表理事	松田 敏弘 ○

◎委員長 ○委員長職務代理

事務局 市政戦略課：小塚課長、舟橋課長補佐、矢本係長、  
服部主査、上原主事

## 3 傍聴者 2名

## 4 会議内容

- 1 あいさつ  
・尾関副市長よりあいさつ

### 2 議題

#### (1) 外部評価結果報告書について

##### (事務局)

それでは、本日の議事の流れについて説明をさせていただきます。

まず、始めに、事前に郵送でお願いしました、評価結果の「判定理由・改善案等」の修正事項について確認をしていきます。次に、本日お手元に配布させていただきました、報告書の前段部分について確認をしていただき、報告書の内容を仕上げていきたいと思っております。

それでは、以後の司会進行は武長委員長にお願いしたいと思っておりますので、武長委員長、よろしく申し上げます。

**(委員長)**

皆さん、先日の行政評価市民公開フォーラムでは2日間お疲れさまでした。本日は、評価当日の皆さんの意見を事務局でまとめていただいた資料を確認し、追加修正いたします。

**(事務局)**

小牧市外部評価結果報告書の評価結果に記載されております内容の確認ということになりますが、AからEの判定については既に出された判定であるため変更はできません。資料の下欄に書かれております「判定理由・改善案等」については、皆さんがご意見を書いていた判定シートを基に、事務局で重複するご意見等を集約させていただきました。そのため、文章の表現等がおかしい場合は、ご指摘をいただければと思います。

**(委員長)**

まずは、はじめに模擬評価分の4事業について、皆さんからご意見をいただきたいと思います。修正等ありましたら、ご発言をおねがいします。

**【1. 市民四季の森バラ・アジサイまつり開催事業】**

**(東本委員)**

判定理由・改善案等の7つ目の「江南の藤、津島の藤みたいに、小牧のバラ、アジサイになるように力を入れてほしい。」と8つ目の「バラ・アジサイまつりでは、限定的なイメージがあるので、元の花と緑のフェスタこまきにするなど、具体的に実施目的を見直す必要がある。」は、ひとつの文章にまとめることはできないか。

8つ目の意見は、私の意見だが、名称の問題もあるが、江南の藤、津島の藤みたいにするため、具体的にこのおまつりの実施目的を見直す必要があることを言いたかった。

**(委員長)**

7つ目は、私の意見であるが、せっかくまつりをやるならば、小牧は「バラ」、江南は「藤」というふうにやってほしいという意図であり、東本委員は実施目的の焦点がぼけているという意図であり、ひとつの文章にまとめることができるため、文言を修正していただきたい。

**(事務局)**

修正いたします。

**【2. 防災訓練実施事業】**

意見なし。

**【3. 市政情報発信事業】**

意見なし。

#### 【4. 花修景推進事業】

意見なし。

##### (委員長)

以上で模擬評価分の確認が終了しました。ところで、市としては、この判定結果はどんな形で活かされるか。来年度以降の予算に反映されるのか。

##### (事務局)

当然、予算に反映できる部分は反映していきます。各委員からのご意見については、予算に反映できるものと、予算とは関係なく手法を改善していくものに分かれると思いますので、色々な方法で取り組んでいき、早いものは来年度から取り入れていきたいと考えております。

委員のご意見の中には、全く異なる意見もありますので、そういったご意見についてはそれぞれの委員のご意見を羅列して表記させていただきました。

##### (委員長)

この資料は担当課にも渡されるのか。

##### (事務局)

渡します。

##### (松浦委員)

事前にいただいた資料として、行政評価市民公開フォーラムの会議録と評価結果の資料があるが、会議録についても担当課に渡されるのか。

##### (事務局)

会議録については、まだ校正が終わっておりませんが、校正が完了次第、ホームページ等で一般公開いたします。会議録の内容確認については、当日の発言は変えられませんが、文章の要約の仕方等について、委員の皆さんと担当課に校正をお願いする予定です。

##### (委員長)

分かりました。会議録については、氏名を出す形式で表記し、公開することが既に決まっています。委員の皆さんには会議録要旨についても、ご自分の発言について、誤解のないよう確認をお願いしたい。

##### (松田委員)

本日の会議の目的は、評価判定結果については変更できないが、判定理由・改善案等について自分の意図と異なる場合は修正できるということか。

##### (事務局)

そうです。判定理由・改善案等については、事務局で要約をしております。この資料は、最終的に、武長委員長から市長へ渡すものとなります。したがって、自分の意見に沿わないとか、埋もれて掲載されていない点がないかの確認をお願いするものです。

(松田委員)

判定理由・改善案等については、評価当日に我々が判定シートに記載したコメントを要約して掲載したもののか。

(事務局)

そうです。

(松田委員)

会議録についてはいつまでに確認すればよいのか。

(事務局)

会議録については金曜日までにご確認いただければと考えております。会議録についても、事務局で要約している部分がありますので、内容についてご確認をお願いします。

(委員長)

まず、報告書の文章の書き方の問題ですが、「である調」と「ですます調」が混在しているため、統一するなら統一した方が良いのではないかと。

(事務局)

外部評価報告書については、「ですます調」が読みやすいため、「ですます調」にさせていただきましたが、報告書中の評価結果と総括コメントについては、外部評価委員の皆様から市や職員に対する意見という意味合いが強いため、「である調」にさせていただいております。

(委員長)

分かりました。では、引き続き行政評価市民公開フォーラム当日分について、判定理由・改善案等の内容を確認していきます。

#### 【1. 敬老会等運営事業】

意見なし。

#### 【2. 寿学園運営事業】

意見なし。

#### 【3. 平成夏まつり支援事業】

意見なし。

#### 【4. 保健衛生団体助成事業】

(東本委員)

一番下の「判定としてはEとも思える。」を削除していただきたい。私は当日の評価で、Eではない評価をしているので、この文は、矛盾するように感じる。全文削除でもよい。

(事務局)

この意見は、東本委員がその場で素直に感じられた意見だと思しますので、そのままでも良いように思います。ただ、ご自分の発言の趣旨と違うということであれば修正していただければと思います。

(東本委員)

分かりました。では、一番下の「判定としてはEとも思える。」のみを削除していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

## 【5. 市民憲章推進事業】

(東本委員)

1つ目の「唱和や啓発といった推進事業とする必要は全くない時代であると思う。」について、「唱和や啓発といった推進事業とする必要はないと思う」とし、「全く」と「時代である」を削除していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

## 【6. 緑化推進事業】

(石井委員)

私の意見「美しいまちづくりは短期で考えられないので、長い期間の中でスタッフの質や専門的で柔軟な考え方も検討していくことが大切なところである。」を追加していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

## 【7. 県管理道路植栽管理委託事業】

(末松委員)

私の意見「市民の協力をいかに得て行うかが重要である。」を追加していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

## 【8. 出産奨励手当支給事業】

(廣野委員)

私が当日発言した、「受益者への公平性を保つために、出生の実数をしっかり把握し、全員に給付することが必要ではないか。受益にばらつきがあると、サービスの正当性が欠けるのではないか。」という意味の文章を追加し

ていただきたい。

(事務局)

当日の判定シートには書ききれなかったということで、追加いたします。

### 【9. 農業体験事業】

(石井委員)

2つ目の意見について、農政課の職員と有機農法について話をした時に、あまり農法について詳しくないと感じた。この事業は農協に委託されていることだが、市職員の方にももっと知識を持っていただきたいという意図で書かせていただいた。少し分かりにくい記載となっているので、修正していただきたい。

(委員長)

では、将来に向けて、特に担当課も農法のあり方を理解してほしいという趣旨に修正するか。

(石井委員)

強調した言い方で書いていただきたい。土壌のことは今後一番心配であり、環境のことも考え、事業を進めていただきたいと思っている。

(委員長)

では、「体験や習熟の中で環境を考え、担当課は将来に向けて、農法をよく理解したうえで、事業を推進していただきたい。」という文言に修正していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

### 【10. 観光行事開催委託事業】

意見なし

### 【11. 広報等作成事業】

意見なし

### 【12. IT教育推進事業（小学校・中学校）】

(委員長)

6つ目の「教育委員会はブラックボックスに感じる」の表現については、もう少し説明を加えた方が良いか。

(松田委員)

「ブラックボックスに感じる」を「閉鎖的に感じる」に変更していただきたい。

(松浦委員)

この事業については、庶務課はパソコンを整備するだけであり、運用に関してはよく分からないということであったため、深い議論ができなかった。

(委員長)

関連部署との連携している事業については、事業説明も連携して行っていただいた方がよい。そのことについても外部評価結果報告書の総括コメントに書き入れていくか。

(事務局)

総括コメントに追記させていただきます。

(松浦委員)

特にこの事業については、その面が強かった。

(原委員)

まさしく、その通りだと思う。議事録にはずばりその文言がないかもしれないが、皆さんの発言ににじみ出ていた。

(委員長)

では、一番最後に、「庶務課と教育委員会（小・中学校）の連携が十分なされていないのではないか」を追加することとする。

(事務局)

一つ目の意見「IT教育そのものの目指す理念やスキル習得の目標レベルを明確に意識した上で」の文言は、教育委員会と連携を意図して記載されたものと思いますが、もっと明確な表現に修正させていただきます。

### 【13. 新エネルギー導入助成事業】

(東本委員)

「他の自然再生エネルギーシステム」の表現について、武長委員が当日発言されていた「風力・水力」という例を盛り込んでどうか。

(事務局)

修正いたします。

### 【14. 市民大学こまきみらい塾運営事業】

(委員長)

この事業については、判定が5人で割れたが、全体としては、講座関係の事業を見直そうという意見であったと思う。

(松浦委員)

各委員の発言の内容はそう変わらなかったが、判定の仕方が違っただけであり、この記載方法で問題ない。

**(原委員)**

松浦委員が言われるように、全体としては共通した思いがあったが、判定結果が A から E まで分散したのは、各委員が考えた改善手法が違うということである。単純に、A から E までいろんな意見がありましたという書き方ではなく、共通した思いについては一行入れても良いのではないか。

**(委員長)**

本事業にかぎらず、このような講座などの事業については、他課との連携、他の事業との統合等も含めて、「運営上、組織上の再検討をしてはどうか」などの文言を使って修正することとする。

**(東本委員)**

男女共同参画について事業概要でうたっていることについて議論があったかと思う。時代が変わったなどの発言もあったはずである。

**(事務局)**

その発言については、「男女共同参画をベースとした展開も、発足 10 年を経た現在」や「男女共同参画にこだわり、狭き門すぎる。」の記載がそこにあたるかと思います。

**(松田委員)**

あくまで改善案等の提案であるため、この書きぶりで良いかと思う。

**(松浦委員)**

「他課との連携」と書いてあるが、長寿介護課と明記しなければ読む人には分かりづらい。

**(事務局)**

講座に関する事業は長寿介護課以外に生涯学習課などもあるため、他課としております。

**(委員長)**

では、「長寿介護課や生涯学習課などの他課」というように 2 つほど例にして出してください。

**(事務局)**

修正いたします。

**【15. 自主防災体制整備事業】**

意見なし

**【16. 防犯対策事業】**

**(末松委員)**

文章を無理やりまとめた感がある。私は「地域力を高めるあいさつの啓蒙、実践や環境美化など総合的な対策を」を書いたが、他の委員の意見とあわせて、「あいさつ、地域の目を育てるコミュニティ形成への対応、小学

校通学隊に対する補助、防犯ブザー補助などについても善処を求めたい。」にしていたのかと思う。「あいさつ」と「小学校通学隊に対する補助、防犯ブザー補助など」は別のことであるため、行を変えるなど修正していただきたい。

また、その下に書かれた「パトロールは、緊急避難的対策だと思う。」については、これだけでは何を言っているのか分からないので、文書の構成を考えていただきたい。

**(事務局)**

末松委員が言われたとおり、重複部分があったため集約させていただきました。文書を修正させていただきます。

**(萩原委員)**

地域力を育てることが大事で、パトロールは事後的の発想である。「あいさつ、地域の目を育てるコミュニティ形成」が主眼であり、「パトロールは緊急避難的対策だと思う。」という形にすれば、末松委員の趣旨にあうと思う。

**(委員長)**

萩原委員と末松委員の意見をまとめて、修正していただきたい。基本は地域力形成であり、パトロールなどの手段は一部であるということである。

**(事務局)**

分かりました。

**(廣野委員)**

「小学校通学隊に対する補助、防犯ブザーの補助」については、小学生全員に無償で防犯ブザーを支給するべきということを強調したかった。

**【17. 外国人児童生徒教育推進事業】**

意見なし

**【18. 特色ある学校づくり推進事業】**

**(石井委員)**

5つ目の意見について、もう少しはっきり「負担があるのなら、対象校を絞り、例えば、毎年ではない形などで行ってほしい」などの表現に修正し、「予算が余っているという事なら、」については削除していただきたい。この発言の趣旨としては、予算があるときには、他の内容で育成のために使用することを検討していただきたいという意味であった。

**(委員長)**

それは、特色ある学校づくり推進事業に関することに使うことか。それとも他の事業に予算を回すということか。

(石井委員)

事業概要に記載されている「地域の特性や人材を活かして主体的に創意工夫をこらした教育活動を行っています。」に関わる育成についてである。

(末松委員)

判定シートには書かなかったが、当日に質問した「部活が忙しくて市民活動に参加できないので、部活がない土日はつukれないのか。」については、この特色ある学校づくり事業の範囲外か。

(事務局)

その発言については、この事業と直接関係ないため、会議録での掲載のみとしてください。

(萩原委員)

判定シートに記載しなかったが、私はフォーラムの際に、採択委員会の審査委員に審査を受ける側の現職校長が入っていることについて組織上問題があるという発言をした。できれば意見として加えていただきたい。

(事務局)

確かに、当日にその趣旨のご発言がありますので、会議録の内容を追加させていただきます。

(松田委員)

誤字脱字であるが、「校長、区長が代わっても作業は継続できるのではないか。」は「る」が抜けているのではないか。

(事務局)

修正いたします。

## 【19. ごみ排出抑制事業】

(廣野委員)

「景気動向に伴う補助の割増しも考慮して、」の文言から「景気動向に伴う」を削除していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

(末松委員)

「市民一人ひとりの努力を引き出す。市民啓蒙の強化をすべきである。」を「市民一人ひとりの努力を引き出すための市民啓蒙の強化をすべきである。」に修正していただきたい。

(事務局)

修正いたします。

## 【20. 自主文化事業】

意見なし

(委員長)

以上で、評価対象事業の判定理由・改善案等の内容確認が終了したが、本日の修正部分の確認については、どうするのか。

(事務局)

事務局で早急に文章を修正し、委員には議事録の修正も含めて、再度ご確認していただきたいと考えております。

(委員長)

続きまして、外部評価結果報告書の前段部分について確認を行います。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

それでは、報告書内の前段部分について、説明をさせていただきます。

まず、最初に「はじめに」についてであります。こちらにつきましては、武長委員長に校正をしていただきながら、作成した文章となります。

続きまして、2ページについてであります。事前に配布させていただきました文案から語尾が変わっておりまして、「市としては、議論された内容を含め導き出された評価結果等を参考に、今後の事業のあり方について再度検討し、資源の有効活用を図るものであります。」という文章でしたが、「図る」という表現では市が主体的に書いたように見受けられるため、語尾を「資源の有効活用を進めていただくものであります。」に修正させていただいております。

「4. 評価対象事業」については、「24事業（模擬評価4事業を含む）」を「24事業（模擬評価4事業・行政評価市民公開フォーラム20事業）」に修正しております。

「5. 評価の流れ」については、今回の判定についてはA～Eの5つの判定区分のうち、5人の評価委員の多数決で一番多い判定を評価結果にするなど、いずれかに絞り込まなかったことが一つの要素だと思っておりますので、この文章を追加する予定です。

「6. 会議等開催経過」については、「なお、模擬評価は、外部評価対象事業担当課の事前準備も目的の一つとしていたため、該当職員のみ傍聴可能としました。」という文章を追加しております。

また、4ページ下欄の「委員同士の意見交換を行いました。」を「外部評価委員、コーディネーター、事務局により意見交換等を行いました。」に修正しております。

続きまして、6ページの総括コメントについては、事前に委員にお願いしましたアンケートをまとめた内容となっております。7ページの「その他、外部評価にあたって感じたこと」については、たくさんのご意見をいただきましたので、項目別に分けさせていただきました。一部、市政全般や外部評価と関係ないことについては、省略させていただいております。

語尾については「である調」に統一させていただいております。

先ほど、議論の中でありました関連部署のオブザーバーの出席については、職員の説明についての欄に付け加えさせていただきます。

**(委員長)**

今、事務局より説明がありましたことについて、何か意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

**(萩原委員)**

「はじめに」の一番最後の文章だが、高い行政サービスの提供とはどういう意味か。質が高いという意味か。

**(事務局)**

そのように考えております。

**(委員長)**

では、「質の高い」に修正する。

新聞には事業仕分けと書かれたが、外部評価の目的部分の表記やコスト削減については前面に出すべきかなど、ご意見あればお願いします。

**(沖本委員)**

「はじめに」に書かれている内容について、市として、厳しさの認識が甘い気がする。少子高齢化や多様化する住民ニーズだけではない。もっと厳しい認識が必要である。

もう一つは、誤解を招かないように、この外部評価の趣旨として仕分けではないことを明確に表現していくべきである。

**(委員長)**

日本経済、世界経済の状況が厳しいというマクロの話と、小牧市が置かれた状況が厳しいという論調を入れたほうが良いという意見である。

**(事務局)**

分かりました。委員長と相談して修正いたします。

**(廣野委員)**

2ページに書かれているが、結果はそのまま反映されるのではなく、市として再度検討し、予算の参考にするということであるため、このままの表現で良いのではないか。

**(末松委員)**

近い将来、財政状況が逼迫し、事業の切捨てが起きるのではないか。行政サービスを中心とした文章ではなく、市民の務めが何かということなども書くべきではないか。市民がサービスを受ける側となり、甘えが出てくる。これからの時代はそれではすまない。地域自治を睨んで市民との協働というフレーズを入れてはどうか。

**(松田委員)**

コスト削減だけが一人走りすると良くない。市民にとって、コストだけ

で計られる間違いも起きる。企業は収益目的であるが、行政とはコスト削減に対する思いが異なるため、両立できる表現が良い。

**(委員長)**

この外部評価の趣旨が何かという話になる。

**(末松委員)**

コスト削減というよりは、いかに市民と協働しながら役割分担して、進めていくかということである。税収は減るし、現役世代も減ってくる時に、あれもこれも切るというわけにはいかない。

**(委員長)**

今出た意見を踏まえて、「はじめに」の文章を修正することとする。

**(事務局)**

事業仕分けは財源の捻出を主な目的としていますが、小牧市の今回の外部評価は手法としては事業仕分けと同じですが、廃止を念頭においてはおりません。内部で評価してきたものを改めて外部の視点で評価していただくことを目的としており、事業仕分けとは目的や理念が異なります。そのため、「5. 評価の流れ」の中にも「事業の廃止ありきでなく」と記載させていただきました。

**(萩原委員)**

行政評価市民公開フォーラム資料の評価結果の活用に記載された、「市民公開フォーラムにより導き出された判定は、市の最終決定でなく～」といった文章が分かりやすいため、その文章を付け加えてはどうか。

**(事務局)**

追記させていただきます。

**(末松委員)**

「事業の廃止ありきではなく」という文言は唐突に出てくるため、削除し、「評価にあたっては、事業の充実や改善など建設的な提案を含めたメリハリのある評価にすることを念頭に実施しました」と修正してはいかがか。

**(委員長)**

今いただいたご意見をもとに、私と事務局で修正することとする。

次に、総括コメントについて、ご意見はありますか。

**(松田委員)**

抜けているわけではないが、せっかくこれだけやっていただいて、当日の市民の参加が少なかったことが大変残念であった。そのためにどうしていくのかを考えていただきたい。7ページの開催周知について、周知方法を見直すなどの文言を入れてはどうか。

**(事務局)**

修正いたします。

**(委員長)**

ところで、今回は議員の参加はどれ程あったのか。

**(事務局)**

当日の傍聴者アンケートの結果では、2日間の延べ人数で、12人となっています。

**(廣野委員)**

7ページのタイトル「(5) その他、外部評価にあたって感じたこと」の「その他、」を削除した方が良い。

**(事務局)**

修正いたします。

**(原委員)**

市民参加の人数がさびしい。傍聴者アンケート結果を見ると、このフォーラムがあるということを知った手立ては広報と市ホームページということである。このフォーラムを続けるのであれば、市民の関心をカバーする意味で、広報やホームページで結果をお知らせするときに、どの程度のウエイトで掲載するつもりか。スペースで効果が出るわけではないが、2回目以降を見据えれば、今回の結果を広報で強烈に市民に訴えた方が良い。

**(事務局)**

今回のフォーラムについては、2回広報に掲載しました。特に2回目は広報の裏面1ページを使いました。広報掲載については、他課の掲載内容と調整が必要であるため、当課だけでは決められませんが、積極的に掲載する方向で努力いたします。

また、今回の結果については、見開き2ページで掲載できないかと考えています。

**(原委員)**

全戸配布の紙媒体は広報しかないのだから、思いきったスペースでお知らせした方が改善につながる。

**(委員長)**

参加者が少なかった原因は、周知の問題、関心度の問題、開催場所の問題など色々あり、いずれ分析する必要がある。

**(末松委員)**

広報については、今回は裏ページを使って随分詳しく掲載されたと感じている。それにもかかわらず、参加者が少なかったのは、市民意識がないということである。日ごろからどう市民と行政が近づいていくかが大きな課題である。

**(松田委員)**

コスト削減の方法論は色々あるが、やはり、協働という文言を「はじめに」に入れ込んでいくべきである。

**(委員長)**

私もそう思う。本日の修正について、今後どのように確認するのか。

**(事務局)**

今日ご確認いただいた部分は早急に修正を行い郵送させていただきます。ただし、申し訳ありませんが、「はじめに」の部分は武長委員長に一任とさせていただきますと思います。

**(各委員)**

委員長に一任します。

**(事務局)**

来週月曜日までに、ご確認いただき、さらに修正がありましたら、事務局にご連絡いただければと思います。

**(委員長)**

修正部分については、資料に修正内容を記載し、封筒で事務局へ送付することとする。

### 3 その他

**(事務局)**

それでは、その他について説明をさせていただきます。

1点目ですが、資料の「第6次小牧市総合計画 分野別計画」をご覧ください。以前に委員から、行政評価対象事業の中で、今回の外部評価対象事業の位置づけについてご質問をいただいております件について、総合計画の施策体系7分野、34施策に評価対象事業の436事業を落とした資料を配布させていただきました。色付けがされている事業が、今回、委員の皆様最初に提示をしました40事業となっております。

なお、外部評価の対象外となった残りの事業の事務事業評価につきましては、11月の末頃にホームページにて公表をする予定であります。

続きまして、2点目ですが、資料の「行政評価市民公開フォーラム～傍聴者アンケート結果～」になります。行政評価市民公開フォーラムで傍聴者の方をお願いをしたアンケートについて、単純集計をした結果でありますので後ほどご覧ください。

なお、公開フォーラムに対する反応としましては、問9で今後も継続すべきとの意見が半数以上を占めており、実施の意義について、概ね理解が得られたものと考えております。

**(委員長)**

傍聴者のアンケートについては、市長への報告書に添付するのか。また、ホームページに掲載するのか。

**(事務局)**

報告書に添付する予定はありませんが、ホームページには掲載する予定

です。

**(委員長)**

分かりました。以上で、本日予定しておりました次第につきましては、  
全て終了しましたが、全体を通して何かありましたら、お願いします。

**(各委員)**

意見なし

**(委員長)**

特にないようですので、これをもちまして、第2回外部評価委員会を閉  
会させていただきます。